



## 命を守り地域の力を育てる

萩ヶ丘校区では子どもから大人まで、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくりを目指しています。過去5年間の結果を踏まえ、さらなる5年で、一人ひとりの声と力を集め「幸せ芽生える萩ヶ丘」実現のために皆さんのご協力をお願いいたします。

### 萩ヶ丘校区社会福祉協議会

〒800-0024 北九州市門司区大里戸ノ上 3-8-1 萩ヶ丘校区自治連合会事務所 TEL：381-8659

#### 防災・防犯

安全、安心なまちにしよう

#### 取組内容

重点実施項目：

#### 災害時の福祉体制づくり

- 風水害・地震・火事  
などに備え行動
- 各家庭での避難行動の  
事前確認
- 生活安全パトロール
- 年末夜警
- 萩老連の交通安全活動
- 防災・減災の情報提供

#### 見守り・助け合い

地域の活動力を高め、  
暮らしを支え合い、  
健康で長生きのまちにしよう

#### 取組内容

重点実施項目：

#### 見守り・助け合い・ 話し合いの活動の充実 (ふれあいネットワーク活動)

- 地域の小さな話し合いを  
大きな輪に発展
- 連絡調整会議
- 人づくり（人材育成）
- 福祉協力員研修・民児協会議
- 共同募金活動
- 高齢者のサロン活動
- 公園ラジオ体操

#### 地域の交流

地域の交流を深め、  
次世代の活動者を育成しよう

#### 取組内容

- 地域行事へ参加することで  
活動意義を理解してもらい  
次世代の育成につなげる

- ふれあいグランドゴルフ大会
- 戸上神社大祭
- 盆踊り・納涼祭
- 敬老会 □文化祭
- 餅つき □七草がゆ
- 健康づくり事業
- 小・中学校との交流・連携

- ：活動の方針・目標
- ：萩ヶ丘校区の取り組み



グランドゴルフ大会



シニア交通安全クラブ（萩老連）



もちつき大会



盆踊り大会



| 重点実施項目                                                                                                                                                      |                         | 災害時の福祉体制づくり                            |      |      |      |      |      |                                |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------|----------------------------------------|------|------|------|------|------|--------------------------------|
| 1 課題背景及び現状                                                                                                                                                  |                         |                                        |      |      |      |      |      |                                |
| <p>○ 災害が発生した際に、高齢者や障害のある人など自力での避難が難しい人も含め、住民同士の支え合いによる福祉の救援体制づくりが急務です。</p> <p>○ 校区内での災害に対する避難所や避難経路の確認等を進めていく必要があります。</p>                                   |                         |                                        |      |      |      |      |      |                                |
| 2 活動の方針・目標                                                                                                                                                  |                         |                                        |      |      |      |      |      |                                |
| <p>○ 実際に起きた災害を教訓にして、住民の命を守るまちづくりを進めます。また、自治連合会等の校区全体の取り組みとの連携を深めます。</p> <p>○ 町内ごとの特徴に応じた災害の危険性を理解し、自ら行動できる風土をつくります。</p> <p>○ 町内ごとに、安全な避難場所の確保を進め、周知します。</p> |                         |                                        |      |      |      |      |      |                                |
| 3 段階的な取り組みの年次計画                                                                                                                                             |                         |                                        |      |      |      |      |      |                                |
| 取り組み内容                                                                                                                                                      |                         | 連携する機関                                 | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 | 2028 | 参考                             |
| 被害の把握                                                                                                                                                       | 体験者の話を聞く「報告会」の開催        | 自治連合会<br>まち協<br>民児協<br>老人クラブ           | →    |      |      |      |      | 過去の様々な災害の教訓を活かす                |
|                                                                                                                                                             | →                       |                                        |      |      |      |      |      |                                |
|                                                                                                                                                             | 被害事例、被害箇所の情報収集          |                                        |      |      |      |      |      |                                |
|                                                                                                                                                             | 災害マップの作成                |                                        |      |      | →    |      |      |                                |
| 避難体制の確認                                                                                                                                                     | 市民センターを拠点にした情報集約のしくみづくり | 自治連合会<br>まち協<br>民児協<br>老人クラブ           | →    |      |      |      |      |                                |
|                                                                                                                                                             | 避難時の行動確認                | 自治連合会<br>まち協<br>民児協<br>老人クラブ<br>社会福祉施設 | →    |      |      |      |      | 避難するための学びの場を設け、家族でも話し合ってもらよう促す |

| 重点実施項目                                                                                                      |                        | “見守り・助け合い・話し合い活動”を充実し、<br>安心して暮らせる萩ヶ丘校区にしよう       |      |      |      |      |      |                               |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|---------------------------------------------------|------|------|------|------|------|-------------------------------|
| 1 課題背景及び現状                                                                                                  |                        |                                                   |      |      |      |      |      |                               |
| ○ 高齢者や子ども、障害のある人の世帯のうち支援を必要とする世帯の把握や、日常的な見守り・助け合い活動の仕組みの再構築が必要になっています。安心して暮らせる地域づくりを進めるための基本活動を継続・充実していきます。 |                        |                                                   |      |      |      |      |      |                               |
| 2 活動の方針・目標                                                                                                  |                        |                                                   |      |      |      |      |      |                               |
| ○ 見守りに必要な情報を町内単位で把握し、福祉協力員・民生委員・町内会長・老人クラブ会員などの見守り関係者で共有の場をつくり、きめ細かい見守り活動を行えるようにします。                        |                        |                                                   |      |      |      |      |      |                               |
| ○ 急激な高齢化に伴い増加が予想される、「制度では対応できない生活上の困りごと」の把握をすすめ、支援のあり方を校区全体で話し合える場をつくっていきます。                                |                        |                                                   |      |      |      |      |      |                               |
| 3 段階的な取り組みの年次計画                                                                                             |                        |                                                   |      |      |      |      |      |                               |
| 取り組み内容                                                                                                      |                        | 連携する機関                                            | 2024 | 2025 | 2026 | 2027 | 2028 | 参考                            |
| 見守り                                                                                                         | 情報共有のルールを学ぶ場づくり        | 自治連合会<br>まち協<br>民児協<br>老人クラブ等                     | →    |      |      |      |      |                               |
|                                                                                                             | 見守り対象者の情報共有の場づくり       | 自治連合会<br>民児協<br>老人クラブ                             |      | →    |      |      |      |                               |
| 助け合い                                                                                                        | 生活上の困りごとの把握            | 自治連合会<br>民児協<br>老人クラブ<br>小・中学校                    | →    |      |      |      |      |                               |
|                                                                                                             | 生活上の困りごとに対応する仕組みづくり    | 自治連合会<br>まち協<br>民児協<br>老人クラブ<br>社会福祉施設            | →    |      |      |      |      |                               |
| 話し合い                                                                                                        | 校区単位の連絡調整会議            | 自治連合会<br>まち協<br>民児協<br>老人クラブ<br>市民センター等           |      | →    |      |      |      |                               |
|                                                                                                             | 連絡調整会議の機能の充実           | 自治連合会<br>まち協<br>民児協<br>老人クラブ<br>社会福祉施設<br>市民センター等 |      |      |      |      | →    | 社会福祉施設の専門職やボランティアグループ等の参画を進める |
| 人づくり                                                                                                        | 交流活動・事業を通じた理解促進と協力者の確保 | 自治連合会<br>まち協<br>民児協<br>老人クラブ                      | →    |      |      |      |      |                               |
|                                                                                                             | 町内役員経験者等からの継続協力確保      | 老人クラブ<br>社会福祉施設<br>学校<br>市民センター等                  |      | →    |      |      |      |                               |

計画の推進

1 地域への計画の承認と周知

- ① 校(地)区社会福祉協議会総会等を通じた社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知
  - ② 計画の実施項目を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
  - ③ 計画書概要版の配布等を通じた校(地)区住民への周知
- 等、計画を推進していくために、計画の広報活動を行います。

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動計画推進委員会の設置

- 計画を推進していくために、萩ヶ丘校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理を行います。
- ① 関係機関・団体との連携
  - ② 計画内容の具体的な実施方法
  - ③ 進行管理の実施
- 等について、委員会では協議を進めていきます。

(2) 計画の進行管理

萩ヶ丘校区小地域福祉活動計画推進委員会では、PLAN（計画立案）DO（実行）CHECK（点検・評価）ACT（改善）というPDCAのサイクルを回しながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合には、その原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対応策を実施します。

(3) 計画の評価

計画期間の中間時点では計画全体の中間見直しを、最終年度には総括評価を行います。

3 第三次計画の策定

第二次計画の推進状況を踏まえて、第三次計画の策定期（計画第5カ年度）には新しく第三次計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。



昭和42年撮影の萩ヶ丘の街並み



平成21年撮影の萩ヶ丘の街並み

参考資料【萩ヶ丘校区小地域福祉活動計画の策定経過】

1 萩ヶ丘校区小地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

|    | 氏 名    | 所属団体           | 役 職     | 備 考 |
|----|--------|----------------|---------|-----|
| 1  | 渡邊 悟   | 萩ヶ丘校区社会福祉協議会   | 会長      |     |
| 2  | 井尾 千恵  | 萩ヶ丘校区社会福祉協議会   | 会計      |     |
| 3  | 土井 聖子  | 萩ヶ丘校区社会福祉協議会   | 監査      |     |
| 4  | 岡田 勝彦  | 萩ヶ丘校区社会福祉協議会   | 委員      |     |
| 5  | 二家 秀俊  | 萩ヶ丘校区自治連合会     | 副会長     |     |
| 6  | 赤司 公昭  | 萩ヶ丘校区自治連合会     | 会計      |     |
| 7  | 松本 庄司  | 萩ヶ丘校区自治連合会     | 監査      |     |
| 8  | 瀬藤 昭   | 萩ヶ丘校区自治連合会     | 監査      |     |
| 9  | 小南 純一郎 | 萩ヶ丘まちづくり協議会    | 会計      |     |
| 10 | 永津 由美子 | 萩ヶ丘まちづくり協議会    | 監査      |     |
| 11 | 大塚 省二  | 同 施設管理部        | 部会長     |     |
| 12 | 野口 忍   | 同 婦人部会         | 部会長     |     |
| 13 | 森山 禮子  | 同 健康づくり委員会     | 委員      |     |
| 14 | 藤原 俊明  | 同 生活安全パトロール隊   | 委員      |     |
| 15 | 吉成 英明  | 萩ヶ丘老人クラブ連合会    | 会長      |     |
| 16 | 山口 和生  | 萩ヶ丘民生委員児童委員協議会 | 地区会長    |     |
| 17 | 瀬戸 孝一  | 萩ヶ丘民生委員児童委員協議会 | 主任児童委員  |     |
| 18 | 池田 里美  | 萩ヶ丘市民センター      | 館長      |     |
| 19 | 中尾 みどり | 萩ヶ丘小学校         | 校長      |     |
| 20 | 森山 めぐみ | 萩ヶ丘校区自治連合会     | 事務局     |     |
| —  | 外部団体   |                | 必要に応じ参画 |     |

“所属団体・役職は令和6年3月現在”